

彼方 「あなた」

朝礼資料
H24.5.14
Vol.10

「夢の描き方」 — 創立記念日全校朝礼 —

五月十日は、湖北中学校創立記念日でした。そこで、創立記念に絡めて第一回目の朝礼を行いました。次のような内容で二十分ほど話をしました。

「昭和二十二年五月十日に湖北村立湖北中学校が湖北小学校に併設する形で開設されました。今も昔も同じですが、学校を作るといえるのは、地域の宝である子ども達に良い教育を提供したいという強い思いであり、大人達の夢なのです。その夢を実現するための第一歩として学校を設立したのです。」

では、その地域の夢を乗せた湖北中で生活している私たちは、どんな夢を持っているのでしょうか？

今日は、初めての朝礼ですが、これからも定期的に「生き方」についてお話をしていきたいと思っております。今回は、その第一回目で「夢を描こう！」というテーマでお話しします。

夢を描くときに大切なことは、自分の心の中にあるバリアを外すことです。そのバリア

の中では、今までの経験でできそうな夢だけが設定されます。が、本当に実現したい夢かと聞かれれば…。

では、そのバリアを外す方法をお話しします。それは「これから宣言することが絶対にうまく行くとしたら本当は何をしたいですか？」

と自分に問うことです。「絶対に夢が叶うとしたらどんな夢を描きますか？」ということですが、そうして思いついたことを実現させるために手段・方法を考えればよいのです。まずは、

「何のために(目的)が先!」「どうすれば」が後なのです。方法は人の数だけあります。何通りも出てきます。」

例えば「野球選手になりたい!」という夢を持っている人がいたとします。「何のために?」と聞かれたら「子ども達に夢を持たせたいから」と答えたとしても、では、野球選手になれなかったらその人はどうなりますか?いくら野球選手になれなかったとしてもその人の人生が終わりという訳ではありません。野球選手以外でも子ども達に夢をもたせることはできます。

クラブチームのコーチになっても野球の審判員でも何でもOKです!目的を見失わなければ、いくらでも目指し続けられるのです。」

では、夢を引き寄せるために必要なことはどんなことでしょうか?それは、困難を楽しめる「心」の持ち方です。こんな話があります。地

獄から来た人と天国から来た人が長い箸を使って食事を取ります。地獄から来た人は、長い箸で一生懸命食べようとしますが、誰一人食べられません。天国から来た人は、長い箸を使ってお互い食べさせ合うので、みな満腹になります。同じ場所で食事をしていても心の持ちようで全く違う結果になるのです。

夢を実現させる人は、前向きで助け合える人です。

もう一度自分の心のバリアを外して、夢を描き直して、前向きに、周囲の笑顔を優先させながら実現させていきましょう!

地域の人が、地域の子ども達に「夢」を託してたてたのが学校です。そのことを忘れず、中で生活するものは、大人も子どもも大きな夢を持ちながら生活していきたいと思えます。」

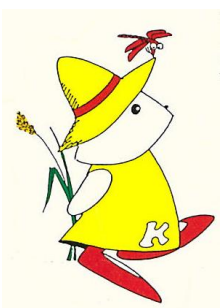
私の夢は、

・通うだけで楽しくてしかたがない

・通うだけで助け合う力が育つ

「伝説の学校」を子ども達や先生方、保護者のみなさん、地域のみなさんと一緒に作っていくことです!

一緒に頑張ろう!



湖北中マスコット「ココロ」